オーケストラ・ファン・ヴァセナールの室内楽シリーズ その 14

波間の真珠たち ジェネラル・リハーサル

～ 18 世紀ドイツ、大きなうねりの間に輝くその光とは～

11 月 14 日 (木) 19:00 開演 (18:30 開場)

オランダ・ベルギーを中心にヨーロッパで活躍するバロック・ヴァイオリン奏者、赤津眞言（あかつ まこと）と
日本の古楽の精鋭たちが、音楽史に埋もれたバロックの作曲家の輝きを現代によみがえらせます。
全国ツアー直前のジェネラル・リハーサルに、**ワンコイン￥500 でご招待！**
いなりやま文書館の良い環境で、上質の音楽をお楽しみください！

赤津眞言
ヴァイオリン

武澤秀平
ヴィオラ・ダ・ガンバ
トレブル・ガンバ

岡田龍之介
チェンバロ

ゴットフリート・キルヒホフ (1685~1746) /Gottfried Kirchhoff
ヴィオリンソナタ 8 番 ヘ長調 / Violin sonata no, 8 in F

ヨハン・ゴットリブ・グラウン (1702/3~71) /Johann Gottlieb Graun
トリオ イ短調、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音
Trio in a minor for violin, viola da gamba and b.c.

クリストフ・シャトラフ (1709~63) / Cristoph Schaffrath
デュエット 作品 1-1 ニ短調、オブリガートチェンバロとヴァイオリン
Deutto no, 1 in d minor, for violin and harpsichord

ヨハン・メルキオル・モルター (1696~1765) / Johann Melchior Molter
ソナタ イ長調、ヴァイオリン、トレブルガンバと通奏低音
Sonata in A major, for violin, treble gamba and b.c. 他

■赤津眞言
ベルギー、レーメンス音楽研究所客員教授。
国立音楽大学、オランダ・ハーグ王立音楽院卒業。モダンヴァイオリンを守岡輝、バロックヴァイオリンを小野萬里、シギスヴァルト・クイケン、室内楽を千成千徳各氏に師事。第 5 回国際古楽アンサンブルコンクール 2 位。レザール・フロリッサン、ラ・プティット・バンド、ターフェル・ムジーク・トロント等ヨーロッパ内外の団体の演奏に参加、クレンデ、レザグレモン、ムファッティ等ではコンサートマスターを勤め、世界各地で演奏、録音活動を行っている。
また後進の指導にも積極的に関わり、アントワープ音楽院、ミュンヘンの音楽学校でのマスターコースをはじめ、日本でも毎年公開レッスンを行う。
国内ではバッハ・コレギウム・ジャパンで演奏、室内楽で各地を演奏している。
オーケストラ・ファン・ヴァセナール、声楽アンサンブル・アトナリテクール主宰。

■武澤秀平
桐朋学園音楽学部バロック・チェロ科講師。 東京藝術大学器楽科チェロ専攻卒業。
同声会賞受賞。新日本フィルハーモニー交響楽団フォアシュピーラー。
チェロを崎野敏明、山崎伸子の各氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福沢宏氏に師事。
バッハ・コレギウム・ジャパン、 クラシカル・プレイヤーズ・東京、
“E.A.S.T”、 “Ensemble Les Nations”、 “ザ・ロイヤルコンソート”メンバー。

■岡田龍之介
洗足学園音楽大学、都留音楽祭、各講師。
慶応義塾大学経済学部、東京芸術大学楽理科、同大学院修了。
音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邉順生の各氏に師事。
全国各地の演奏会、韓国やドイツでの公演も多い。ソロ、教育活動にも力を注ぐ。
ソロ CD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選) など 9 枚の CD をリリース。
古楽アンサンブル “ムジカ・レセルヴァータ” 主宰。

■会場：いなりやま文書館

(狭山市入間川 4-14-38 〒350-1305)
西武池袋線 稲荷山公園駅下車徒歩 7分
バス停「稲荷山公園入口」より徒歩 2分
※駐車場はございませんので、
電車またはバスをご利用ください。

■会費：￥500 (要予約・40 席)

■ご予約・お問い合わせ：10 月 22 日 (火) ～受付開始
スタジオクリッパー http://www.studio-clipper.net
E メール clipper@smail.plala.or.jp FAX.04-2950-1026
(可能な方は E メールでお願いします。急なご連絡のみ TEL.04-2950-1510)